

九州大学小山悟研究室主催「今年も集まれ!日本語教育の仲間たち」 2024年8月24日

基調講演

eラーニングとこれからの日本語教育

生活・就労のための日本語学習支援にどう活用できるか

熊野七絵

(国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員主任)

自己紹介

2001年より国際交流基金(JF)関西国際センター(KC)日本語教育専門員。
海外の日本語教育支援として、日本語研修、教材・eラーニング開発に従事。
JFの海外派遣経験は、米国、タイ、スペイン。

【専門分野】 コースデザイン、教材開発、eラーニング開発・ICT、評価・テスト開発等

【教材】

- 『初級からの日本語スピーチ』
 - 『日本語ドキドキ体験交流活動集』
- ほか



【eラーニング】

- サイト「アニメ・マンガの日本語」
- コース「みなと」上の「日本語オンラインコース」
例:「まるごとコース」「スピーチコース」
「いそどり日本語オンラインコース」
- アプリ「HIRAGANA/KATAKANA/
KANJI Memory Hint」



JF 国際交流基金
Basic 日本語基礎テスト



前提とねらい

- ・セミナー参加者 日本語教育現場の実践者やこれから目指す学生
- ・地域の現状 生活・就労のための日本語教育ニーズ
- ・課題 時間等の制約、多様性、支援者中心⇒初期支援

なぜeラーニング？

制約がある、多様なニーズの学習者が自学自習できる仕掛け

⇒ 生活・就労のための学習支援にどう活用できるか

これからの日本語教師・学習支援者の役割を考えるきっかけに

目標

- JFの海外の日本語教育支援と教材開発、外国人材向け日本語事業の取り組みについて知る
- eラーニングを活用した学習支援のためのポイントを知る
- 生活・就労のためのeラーニングとその特徴や自学自習のための仕掛けを知る
- eラーニングを学習支援にどう活用できるか、これからの教師・学習支援者の役割について考える

流れ

1. JFの海外の日本語教育支援と教材開発
2. eラーニングを活用した学習支援のポイント
3. 生活・就労のためのeラーニング:体験、分析
4. これからの教師、支援者の役割

Ⅰ. JFの海外の日本語教育支援と教材開発

国際交流基金 (JF) の3つの交流事業

「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ」

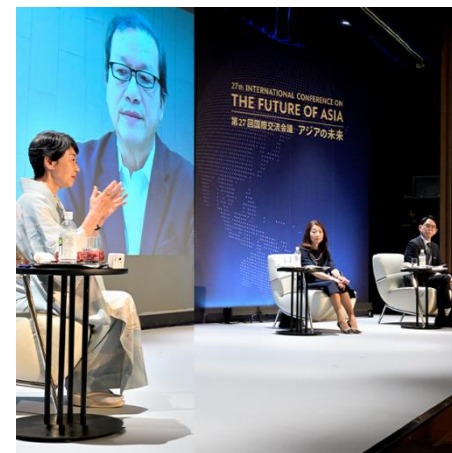
文化芸術交流
【文化】



日本語教育
【言語】



日本研究・知的交流
【対話】



<https://www.jpf.go.jp>

JFの海外日本語教育支援

調査・情報

日本語機関調査
国別情報

現地支援

拠点 専門家派遣
教師・機関・学習者
JFにほんごネットワーク

基盤・テスト

JF日本語教育スタンダード
JLPT JFT-Basic

教師支援 (NC)

教師研修
教材・教授法開発

学習者支援 (KC)

学習者研修
eラーニング・教材開発

NCの教師支援：教師研修と教材・教授法開発

映像・レアリア



現場でアレンジ



コースブック



Web版・アプリ



リソースサイト



教材サイト



<https://www.jpff.go.jp/j/urawa/>



JF日本語教育スタンダード

- 「相互理解のための日本語」を理念とした日本語教育のための枠組み
課題遂行能力と異文化理解能力を育成する実践をサポート

- レベル

熟達度をCEFRのレベル指標に準じた
6レベル(A1、A2、B1、B2、C1、C2)で知る

- ツールとしてのJFS

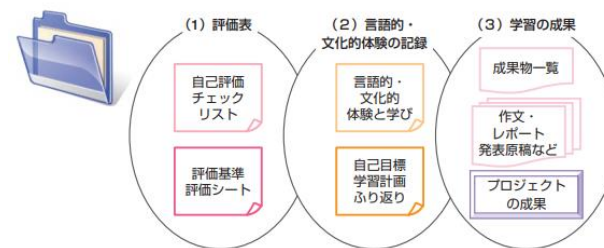
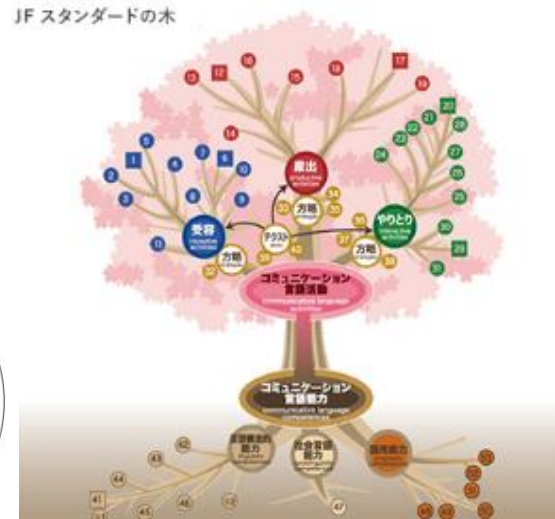
JFスタンダードの木(言語活動と言語能力)

6レベルとCan-do (CEFR Can-do、JF Can-do、My Can-do)
ポートフォリオ(自身の学習の評価、体験記録、成果)

Can-doの6レベル



JF スタンダードの木



<https://www.jfstandard.jp/standard.jp/standard.jp/>
<https://www.jfstandard.jp/standard.jp/standard.jp/cando/>



教材『まるごと』と『いろどり』



『まるごと 日本のことばと文化』

<https://www.marugoto.org/>



『いろどり 生活の日本語』

<https://www.irodori.jp.f.go.jp/>

- ・JFSの学び方、教え方、評価のしかたを具現化したコースブック
- ・日本のことば（課題遂行）と文化（異文化理解）を学ぶ
- ・「行動中心アプローチ」

Can-do: 目標→学習活動→評価で、**できること**を増やす

KCの学習者支援：研修とeラーニング・教材開発

● 日本語研修

専門日本語研修（外交官 研究者）

日本語学習者訪日研修（大学生 高校生）



体験・交流

専門・個別

自律・継続

● eラーニング・教材開発

電子書籍で
無料公開！



<https://www.jpf.go.jp/j/kansai/index.html>

JFの日本語学習eラーニングの概要



★プラットフォーム「JFにほんごeラーニングみなと」 <https://minato-jf.jp/>



様々な日本語学習オンラインコースを提供するプラットフォーム。いつでもどこでもインターネットを通じて日本語を学べる機会を提供。学習者同士が交流できるコミュニティ機能も設置。基金海外拠点が独自にコースを制作、運用することも可能。みなとを活用して運用する各種オンラインコースは以下を中心に年間約250コースを開講。

【英語・スペイン語・中国語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語・日本語】

●まるごとオンラインコース



日本語と文化をまるごと学び、総合的な日本語力をつける「みなと」のメインコース。国際交流基金が開発したコースブック『まるごと日本のことばと文化』のシラバスに沿い、オンラインで自学自習できる。初学者向け入門（A1）レベルから初中級（A2/B1）レベルまで開講。日本語をゼロから学び始めて、レベルアップを図ることができる。

【英語・スペイン語・中国語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語・フランス語・ポルトガル語・日本語】

【ウェブサイト】

●いどり日本語オンラインコース



日本で生活や仕事をする際に必要な、日本語のコミュニケーション力を身につけることができるオンラインコース。

【英語・日本語・中国語・モンゴル語・インドネシア語・クメール語・タイ語・ベトナム語・ミャンマー語・ネパール語、ベンガル語、ラオス語】

まるごとプラス（まるごと+）



『まるごと』で学ぶ人の自習をサポートするサイト。各種練習を行ったり、日本の生活や文化が学べる。

【英語・スペイン語・日本語】

ひろがる もっといろんな日本と日本語



学習者が自分の興味があるトピックから日本語と日本文化を学べるサイト

【英語・日本語】

アニメ・マンガの日本語



アニメ・マンガでよく使われるキャラクターやジャンルの日本語を楽しむ学べるサイト

【英語・スペイン語・中国語・韓国語・フランス語・日本語】

「エリンが挑戦！にほんごできます。」コンテンツライブラリー



留学生エリンと日本語と日本文化を学べるサイト

【英語・日本語、動画字幕と教材は11言語に対応】

ひきだすにほんご Activate Your Japanese! コンテンツライブラリー



「ひきだすにほんご」の動画で日本語での自立的なコミュニケーションが学べるサイト

【英語・日本語、動画字幕は6言語対応】

NIHONGO eな



日本語学習に役立つサイトやアプリ等を紹介するポータルサイト

【英語・日本語】

日本語でケアナビ



看護や介護の分野で必要な語彙や表現を調べることができるサイト

【英語・インドネシア語・日本語】

【スマートフォン用アプリ】

HIRAGANA/KATAKANA Memory Hint



連想イラストで「ひらがな」「カタカナ」を楽しく覚え、クイズで確認できるアプリ

【英語・インドネシア語・タイ語】

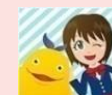
KANJI Memory Hint 1,2,3



漢字の形を連想させるイラストと2種類のゲームで楽しく漢字を学べるアプリ

【英語】

エリンと挑戦！にほんごテスト



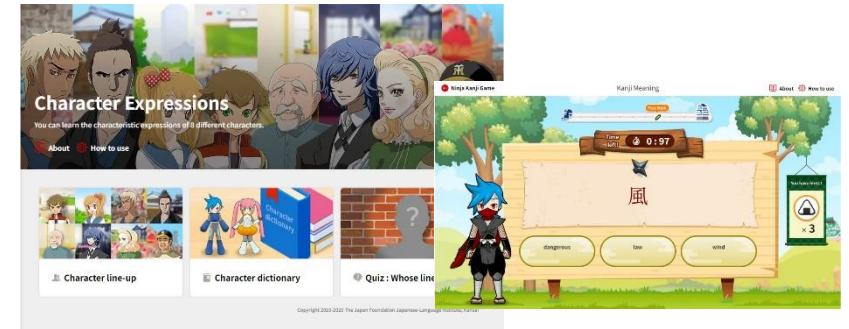
カードゲームやマンガ、クイズを通して日本語の初級の語彙や表現を楽しく学び、どのくらい覚えたかを確認できるアプリ

【英語・インドネシア語】

日本語学習のためのeラーニングの変遷

● ウェブサイト

「アニメ・マンガの日本語」
本からPC、オンラインへ



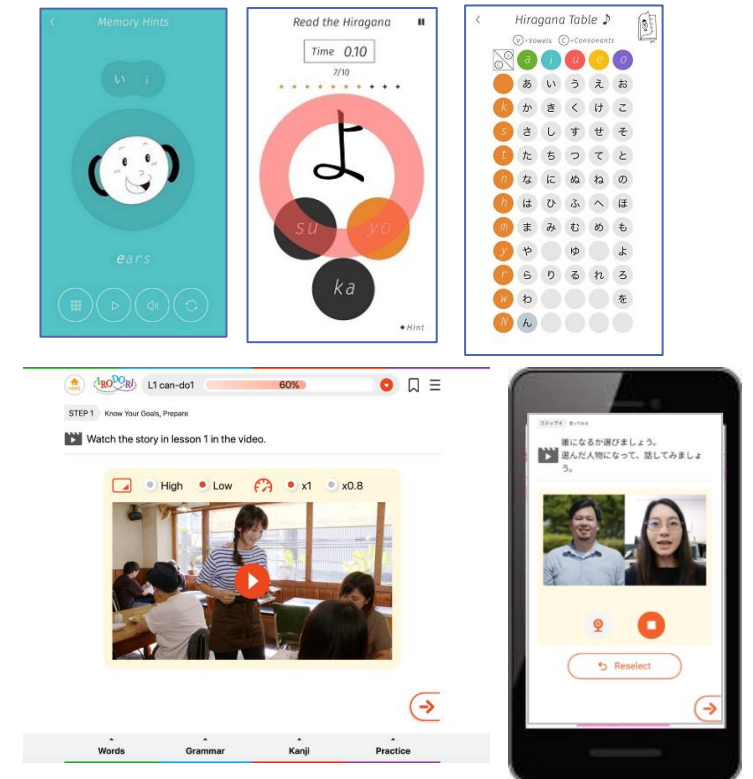
● アプリ

「Hiragana Memory Hint」
PCからスマートフォンへ



● オンラインコース

「いそどりオンラインコース」
教室からLMSの自学自習へ
(マルチデバイス、動画、AI、VR)



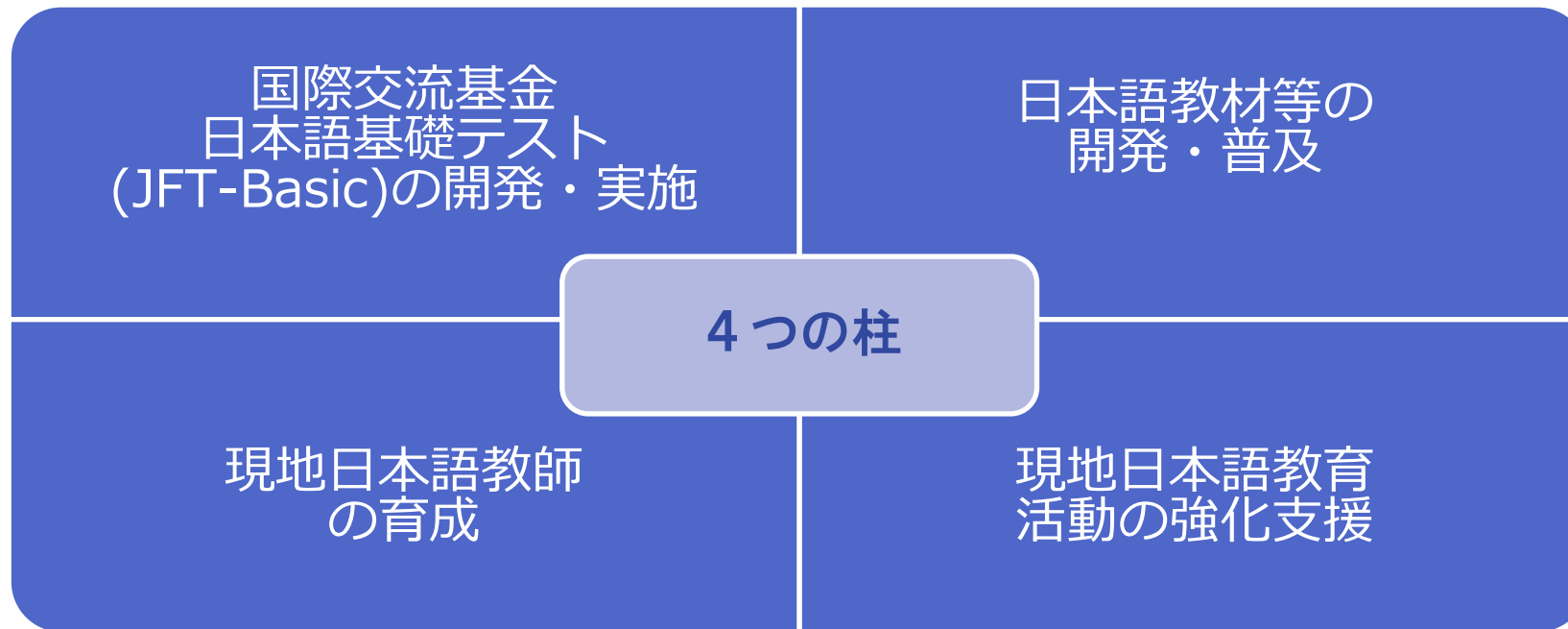
⇒時代の学習ニーズに合わせ

学習を支援するための工夫と新しいテクノロジー

JFの外国人材向け日本語事業の取り組み

2018(R1)年:外国人材受入れ・共生のための総合的対応策

2019(R2)年:特定技能制度の開始



<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/ssw/>

目標、学習、評価のサイクルの開発

特定技能1号の日本語要件

「ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力（A2）を有する」

目標

- ・ なにかどのくらいできることを目指すのか
- ・ CEFR/JFSのA2レベル、JF生活日本語Can-do

学習

- ・ なにをどうやって学習すればよいのか
- ・ 『いそどろ生活の日本語』、「いそどろ日本語オンラインコース」

評価

- ・ その能力があるかなにでどう評価するのか
- ・ 国際交流基金日本語基礎テスト（JFT-Basic）



日本で生活・就労する

目標「JF生活日本語Can-do」

大カテゴリー	JF 生活日本語 Can-do (381)		
	出かける (128)	暮らす (179)	働く (74)
	公共空間でのコミュニケーション。 やりとりの相手は、店員や施設の職員など公共の役割を担う人々。	さまざまな場所での私的なコミュニケーション。やりとりの相手は、友人や知り合いなど（外出先でのやりとりでも友人との私的なやりとりはこちらに含む）。	職場でのコミュニケーション。やりとりの相手は、職場の上司や同僚など（同僚との休憩時間や忘年会、交流会に関するやりとりも含む）。
小カテゴリー	交通機関を利用する 街を歩く 飲食店を利用する 買い物をする 郵便局／銀行を利用する 公共機関を利用する 娯楽施設を利用する 観光施設を利用する 地域の行事／活動に参加する 美容院を利用する クリーニング店を利用する 医療機関を利用する ★緊急時に備える／対応する	生活の中で聞いたり話したりする 生活の中で読んだり書いたりする テレビを見る／ラジオを聞く 会話を円滑に進める ★緊急時に備える／対応する	職場で聞いたり話したりする 職場で読んだり書いたりする ★緊急時に備える／対応する

日本での生活場面で求められる基礎的な日本語コミュニケーション力をCan-do Statement（「～できる」という課題遂行力を表す形）で記述し、リストにしたもの

番号	大カテゴリー	小カテゴリー	JFS種別	整番	レベル	JF生活日本語Can-do	言語活動
103	出かける	地域の行事／活動に参加する			A1	地域の日本語教室などで初めて会った人に、趣味は何か、簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。	やりとり（口頭）
104	出かける	地域の行事／活動に参加する	JF	455	A1	自己紹介の場で、名れなどに自分の国、自分の名前を日本語で書くことができる。	やりとり（文書）
105	出かける	地域の行事／活動に参加する			A2	地域の広報誌などにある、外国人向けの短い簡単なお知らせを読んで、日本語教室や交流イベントなどの場所や日時、内容など、いくつかの情報を理解することができる。	受容（読む）
106	出かける	地域の行事／活動に参加する	(JF)	476	A2	地域のイベントのプログラムなどの短い簡単なテキストを見て、出し物の時間や内容など、必要な情報を探し出すことができる。	受容（読む）



https://www.jpf.go.jp/j/urawa/j_rsorcs/seikatsu

学習『いろどり生活の日本語』「いろどりオンラインコース」



対象：（就労などのために）日本で生活したい人、生活している人

目標：生活場面のトピックで日本語を使って「話す/聞く/読む/書く」
のコミュニケーション（課題遂行＝Can-do）ができる

考え方：行動中心アプローチ

シラバス：トピック＋Can-do

学習の流れ：Can-do：目標⇒学習活動⇒評価

特徴：コースブック、第2言語習得、オーセンティシティ、各国語、生活文化も



<https://www.irodori.jpf.go.jp/>

評価 「国際交流基金日本語基礎テスト JFT-Basic」



対象：主として就労のために来日する日本語を母語としない外国人

目的：「ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力」
（A2程度）があるかどうかを判定 ⇒ 特定技能1号に活用

構成：文字と語彙、会話と表現、聴解、読解で総合的に判定

問題：A1-A2のCan-doに基づく問題、生活場面に絞った課題遂行

方式：CBT方式、即時結果通知

実施：海外11か国22都市、国内47都道府県で頻回実施



<https://www.jpf.go.jp/jft-basic>

2. サンプル問題③ 聴解 「内容理解 指示・アナウンス」

指示やアナウンス、音声メディア等を聞いて、内容を理解できるかを問う。

職場の防災訓練で担当者が火事の際にどうすればいいかについて話しています。

(1) 火事が起きたとき、最初に何をしますか。

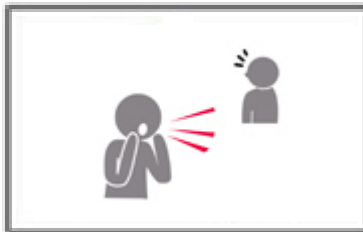
(2) どこに避難しますか。

Your Language 1

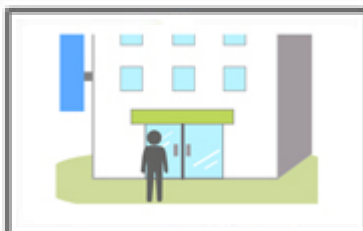
Your Language 2



(1)



(2)



Your Language 2

Uzbek

Siz ish joyidagi tabii
kerakligi haqida gap
(2) Qayerga evakuat

【Can-do】

ゆっくりとはっきりと話されれば、地域の防災に関する簡単な説明を聞いて、パンフレットなどにあるイラストや写真を手がかりに、避難場所や避難時の注意事項などを理解することができる。

Mongolian

Ажлын газрын гамшгаас урьдчилан сэргийлэх сургалтаар гал гарсан үед яах талаар сургагч зөвлөж байгаа нь сонсогдоно. (1) Гал гарсан үед эхлээд яах ёстой вэ? (2) Хаашаа зугтах вэ?

Myanmar

လုပ်ငန်းခွင်၏သဘာဝဘေးကာကွယ်ရေးလေ့ကျင့်မှုတွင်တာဝန်ရှိသူမှစီးဘေးဖြစ်ပွားချိန်တွင်မည်သို့လုပ်ဆောင်ရမည်နှင့်ပတ်သက်ပြီးပြောနေသည့်ကိုကြားရလိမ့်မည်။ (၁) စီးဘေးဖြစ်ပွားချိန်တွင်ပထမဦးစွာဘာလုပ်ရမည်နည်း။ (၂) မည်သည့်နေရာတွင်ဘေးရှောင်မည်နည်း။

Nepali

तपाईंले काम गर्ने ठाउँको आपत्कालिन तालिममा एक अधिकारीले आगलागी भएको बेला के गर्नु उपयुक्त हुन्छ भन्नेबारे भनिरहेको कुरा सुन्नुहुन्छ। (1) आगलागी भएको बेला सुरुमा के गर्नुपर्छ? (2) आपत्कालिन अवस्थामा सुरक्षित रहनको लागि कहाँ जानुपर्छ?

Thai

คุณจะได้ยินผู้รับผิดชอบบอกคำสั่งบอกเกี่ยวกับสิ่งที่ควรทำเมื่อเกิดอัคคีภัย ในการซ้อมป้องกันภัยของที่ทำงาน
(1) เวลาเกิดอัคคีภัย ก่อนอื่นต้องทำอะไร
(2) ต้องหนีภัยไปไหน

Vietnamese

Bạn sẽ nghe người phụ trách đang nói chuyện về việc nên làm như thế nào khi xảy ra hỏa hoạn trong buổi huấn luyện phòng tránh thiên tai tại nơi làm việc. (1) Bạn sẽ làm gì đầu tiên khi hỏa hoạn xảy ra? (2) Bạn sẽ sơ tán đi đâu?



日本語の目標、学習、評価のサイクルの開発

特定技能1号の日本語要件

「ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力（A2）を有する」

目標

- ・ なにかどのくらいできることを目指すのか
- ・ CEFR/JFSのA2レベル、JF生活日本語Can-do

学習

- ・ なにをどうやって学習すればよいのか
- ・ 『いそどろ生活の日本語』、「いそどろ日本語オンラインコース」

評価

- ・ その能力をなにでどう評価するのか
- ・ 国際交流基金日本語基礎テスト（JFT-Basic）



日本で生活・就労する

国内（文化庁、現文科省）の日本語教育の取り組み

外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策（令和6年度改訂、概要より抜粋）

円滑なコミュニケーションと社会参加のための日本語教育等の取組

外国人が生活のために必要な日本語等を習得できる環境の整備

- 都道府県等が行う日本語教育を強化するための総合的な体制づくりの推進、市区町村が都道府県と連携して行う日本語教育の支援、**「日本語教育の参照枠」**を活用した地域日本語教育の水準向上《施策1》
- 「日本語教育の参照枠」に示された日本語教育の内容等に対応した分野別の教育モデルの開発・普及《施策3》
- 日本語教室空白地域解消推進事業による日本語教室の開設・安定化に向けた支援及び生活場面に応じた日本語を学習できる**ICT教材**の開発・提供等《施策4》
- 日本語教育及び社会にスムーズに定着するための生活オリエンテーションの受講支援《施策7》

日本語教育の質の向上等

- 日本語教育機関認定の開始及び登録日本語教員の資格制度の円滑な運用《施策5（再掲）》

育成就労外国人の日本語能力の向上

- 日本語教育の質の向上が図られるよう、育成就労計画に盛り込むべき日本語能力の育成目標等の基準の検討等《施策131（再掲）》

「日本語教育の参照枠」とは

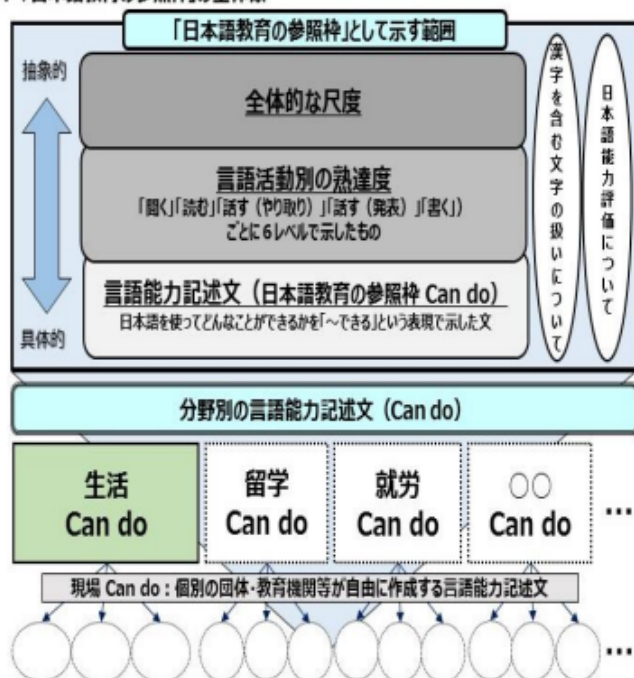
ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）^{*}を参考に、日本語の習得段階に応じて求められる日本語教育の内容・方法を明らかにし、外国人等が適切な日本語教育を継続的に受けられるようにするため、日本語教育に関わる全ての者が参照できる日本語学習、教授、評価のための枠組み。文化審議会国語分科会日本語教育小委員会で令和元年から検討を開始し、国民の意見募集を経て、令和2年11月に一次報告、令和3年3月に二次報告を取りまとめた。令和3年度最終報告を取りまとめるとともに、活用のための手引き等や「生活Can do」を作成予定。

* CEFRとは

ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR: Common European Framework of Reference for Languages）は、欧州評議会によって20年以上にわたる研究と検証の末に開発され2001年に公開された。現在では40もの言語で翻訳されている。また、CEFRは言語資格を承認する根拠にもなるため、国境や言語の枠を超えて、教育や就労の流動性を促進することにも役立っている。

「日本語教育の参照枠」

1. 「日本語教育の参照枠」の全体像



2. 日本語能力評価について

- 「日本語教育の参照枠」における言語教育観に基づく評価の理念
 - ①生涯にわたる自律的な学習の促進
 - ②学習の目的に応じた多様な評価手法の提示と活用促進
 - ③評価基準と評価手法の透明性の確保
- 「日本語教育の参照枠」における日本語能力観と評価の考え方（事例）
- 日本語能力の判定試験と「日本語教育の参照枠」の対応関係を示す方法
- 社会的ニーズに応える適切な日本語能力判定の在り方について

全体的な尺度（抜粋）

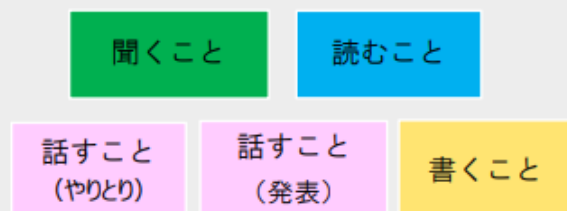
日本語能力の熟達度について6レベルで示したもの

熟達した言語使用者	C2	聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。自然に、流ちょうかつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流ちょうに、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解できる。お互いに緊張しないで熟達した日本語話者とやり取りができるくらい流ちょうかつ自然である。
	B1	仕事、学校、娯楽でふだん出会うような身近な話題について、共通語による話し方であれば、主要点を理解できる。身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

※各レベルについての説明は、CEFR日本語版（追補版）の訳文を基にし、CEFR補遺版を参考に一部修正を加えた。

5つの言語活動

（言語活動別の熟達度を示す）



期待される効果

- 国内外共通の指標・包括的な枠組みが示されたことにより国や教育機関を移動しても継続して適切な日本語教育を受けることができる。
- 生活・就労・留学等の分野別の能力記述文（Can do）が開発され、生活者・就労者・留学生等に対する具体的な効果的な教育・評価が可能になる。
- 日本語能力が求められる様々な分野で共通の指標に基づく評価が可能となり、試験間の通用性が高まる。
- 適切な日本語能力判定の在り方が示されたことにより試験の質の向上が図られる。

国内外における日本語教育の質の向上を通して、共生社会の実現に寄与する。

「日本語教育の参照枠」 言語教育観の柱

文化庁 2020(R3)年10月報告 p.4

1 日本語学習者を社会的存在として捉える

学習者は、単に「言語を学ぶ者」ではなく、「新たに学んだ言語を用いて社会に参加し、より良い人生を歩もうとする社会的存在」である。言語の習得は、それ自体が目的ではなく、より深く社会に参加し、より多くの場面で自分らしさを発揮できるようになるための手段である。

2 言語を使って「できること」に注目する

社会の中で日本語学習者が自身の言語能力をより生かしていくために、言語知識を持っていることよりも、その知識を使って何ができるかに注目する。

3 多様な日本語使用を尊重する

各人にとって必要な言語活動が何か、その活動をどの程度遂行できることが必要か等、目標設定を個別に行うことを重視する。母語話者が使用する日本語の在り方を必ずしも学ぶべき規範、最終的なゴールとはしない。

地域日本語教育関連の報告書、リソース

- NEWS（日本語教育コンテンツ共有システム）
- 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について
関連リソース：ガイドブック、教材例集、日本語能力評価、指導力評価、ハンドブック
- ICTを活用した「生活者としての外国人」のための日本語学習コンテンツの開発・提供に関する調査研究
- 日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし（つなひろ）」、ガイドブック
- 「地域日本語教育スタートアッププログラム報告書 日本語教室立ち上げハンドブック」
- 「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 事例報告書」
- 「日本語教育の参照枠」
- 「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き
- 「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版」
- 「地域における日本語教育の在り方について（報告）」
- 「日本語教育の参照枠」に基づく「生活Can do」一覧



https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/

https://www.mext.go.jp/a_menu/01_p.htm

文化庁（2024（R5）年3月までの情報）

文科省（2024（R6）年4月からの情報）

参考：
2023年3月実施
資料、動画、活用案

国際交流基金関西国際センター 25周年記念シンポジウム



外国人材の受け入れ・ 共生のための日本語教育支援 — 海外での支援から国内へ —

プログラム

セッション1	国際交流基金外国人材向け日本語教育支援紹介
セッション2	ワークショップ 『いろどり』『いろどり日本語オンラインコース』の活用を考える
セッション3	リソースデモンストレーション
セッション4	パネルディスカッション 海外の外国人材向け日本語教育支援から、国内の日本語教育への活用について考える 登壇者：金田智子（学習院大学文学部日本語日本文学科教授） 近藤彩（昭和女子大学人間文化学部日本語日本文学科教授） 圓入由美（文化庁国語課長） 北村祐人（文化庁国語課地域日本語教育推進室専門職） 山本雅子（国際交流基金日本語第2事業部長） モデレーター：熊野七絵（国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員主任）



<https://www.jpf.go.jp/j/kansai/news/2023/03/post-23157.html>

2. eラーニングを活用した学習支援のポイント

eラーニングのメリット・デメリット

- 日本語学習者にとって

いつでもどこでも学習できる

ニーズに合う内容や方法、ペースで学習できる

自律学習の習慣づけができる

△継続が難しい、孤独感



- 日本語教師、学習支援者にとって

授業のリソースとして役立つ

学習者の個別支援に役立つ

△教師の役割、取り入れ方がわからない



コロナ禍による日本語教育の変化

【学習】

集合
対面授業
宿題・予復習



【教材】

教科書、プリントetc

【教師】

コースデザイン、授業

【学習】

個人
自学自習
オンライン授業



【教材】

電子教材、PDF、動画etc
eラーニング（サイト、アプリ）

【教師】

電子教材作成、オンライン授業、サポート

教師の「**教授**」中心

学習者の「**学習**」中心

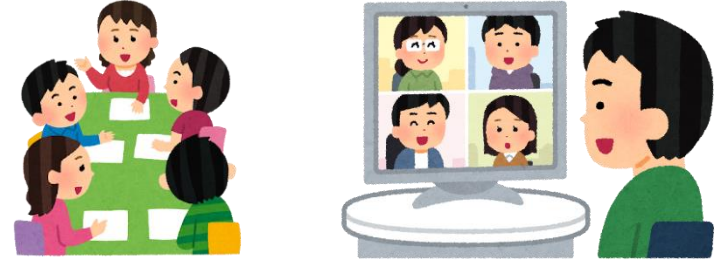
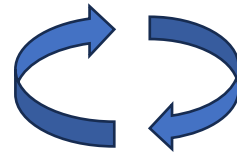
テクノロジーによる個別化、協働の促進



個別化

eラーニング

いつでもどこでも 個別学習
即時フィードバック 自己管理



協働

ICT

情報収集 協働・交流 発信
Google Zoom SNS

「個別化」と「協働的」のサイクルが「深い学び」に
自律的な学びも支援

eラーニングを活用した学習支援のためのポイント

- 課題やニーズに合うeラーニングを**探す**
- 学習者として**体験する**
- 自学自習を支援する仕掛けを**分析する**
- 自学自習と教室での学習の流れを**デザインする**

eラーニングを探す：ポータルサイトの活用

- ・ JF 「みなと」 約200のさまざまなオンラインコースを開講
- ・ JF 「Nihongo eな」 約300のサイトやアプリを紹介、更新
- ・ 文化庁 「NEWS」 さまざまな生活日本語教材を検索

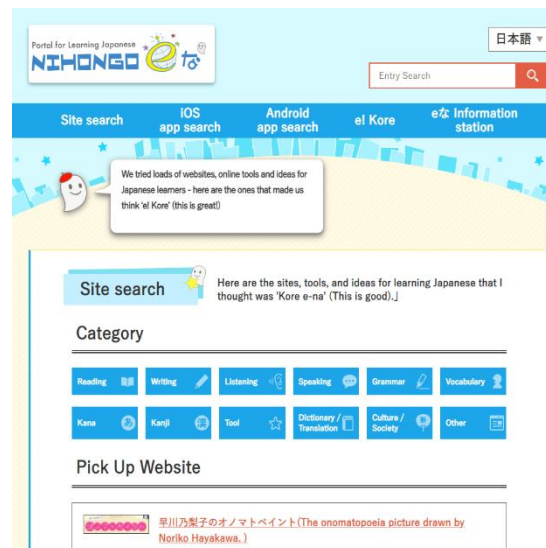


Learn Japanese anytime, anywhere.

About Japanese Courses

All

Refine Search



学習者として体験する：学習者エンゲージメント

- 感情 どんな気持ち？ わくわく 楽しい できた 退屈
 - 行動 何をしている？ 主体的？ 聞いて選ぶ 自分のことを話す
 - 認知 頭の中で考えている？ 気づく 整理する ふりかえる
- (社会 相手や社会に関わってる？ 対話 交流 協働 発信)

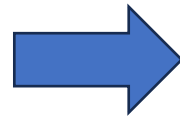
自学自習を支援する仕掛けを分析する

- 自学自習を支援する「**学習の流れ**」になっているか
 - ・指導方略 導入⇒練習⇒まとめ
 - ・言語習得過程 インプット⇒気づき⇒アウトプット
- 自学自習を続けられるよう「**動機づけ、魅力**」を高めているか
 - ・ARCSモデル 注意、関連性、自信、満足感
 - ・ゲーミフィケーション 没入感、選択性、競争、挑戦、ご褒美
- 自学自習を続けられる「**学習体験**」になっているか
 - ・MOOC、学習分析学 画面上の提示(UI)、ユーザー体験(UX)

学習の流れをデザインする 教授デザインから学習デザインへ



教師視点の
Teaching デザイン
教授内容、教え方



学習者視点の
Learning デザイン
学習体験、プロセス

3. 生活・就労のためのeラーニング 体験、分析



First of all /
自分に合った
レベルを探そう

このサイトについて

NEW /
サイトの使い方

日本語の特徴

生活の中の読み書き

NEW /
役に立つ情報
<動画>

NEW /
役に立つ情報
<コラム>



便利なフレーズ



レベル1



レベル2



レベル3



つながるひろがる にほんごでの暮らし

<https://tsunagarujp.mext.go.jp/>



つなひろ

1. 「つなひろ」とは
2. 自学自習の学習の流れ <体験>
3. 自学自習の支援の仕掛け <分析>

「つなひろ」とは



TSUNAHIRO

「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト
つなひろがるにほんごでの暮らし

日本語教室がない空白地域に暮らし、
日本語学習機会がない外国人が
独学で習得できる日本語学習サイト

全18言語

日本語、英語、中国語簡体字、ポルトガル語、
スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、
フィリピン語、ネパール語、クメール（カンボジア）語、
韓国語、ミャンマー語、モンゴル語、タイ語、
ウクライナ語、ロシア語、中国語繁体字、フランス語



はじめに覚えよう！日本語の便利なフレーズ



ちょっと声をかけたいとき



買い物をするとき



注文するとき



生活に必要な日本語を『見て・聞いて』学べる動画コンテンツ

👤 便利な フレーズ	シーン1 ちょっと声をかけたいとき シーン2 買い物をするとき シーン3 注文するとき	シーン4 近所の人に会ったとき シーン5 人の家を訪問するとき シーン6 質問したいとき
👤 レベル1	シーン1 あいさつをしよう シーン2 身近なものを買ってみよう シーン3 売り場や値段をきいてみよう シーン4 ほしいものを選んで買ってみよう シーン5 お店のの人に希望を伝えてみよう シーン6 レストランへ行ってみよう	シーン7 宅配便を利用しよう シーン8 電車に乗ってみよう シーン9 道をきいてみよう シーン10 銀行を利用しよう シーン11 住民としてのマナーを理解しよう
👤 レベル2	シーン1 場面に応じたあいさつをしよう シーン2 お店のサービスを利用してみよう シーン3 お店を選んでみよう シーン4 いろいろなお店を利用しよう シーン5 上手に買い物をしよう シーン6 自治会に入ってみよう シーン7 イベントに行ってみよう	シーン8 病院に行こう シーン9 緊急のときは、助けをもとめよう シーン10 役所に行こう シーン11 図書館に行ってみよう シーン12 ハガキを送ってみよう シーン13 インターネットや電話を利用しよう
👤 レベル3	シーン1 職場であいさつをしよう シーン2 行きたい場所に自分の力で 行ってみよう シーン3 安全に注意して移動しよう シーン4 薬局を利用しよう シーン5 防災について考えよう	シーン6 病気を予防しよう シーン7 住民として地域の活動に参加しよう シーン8 引っ越し先を探そう シーン9 引っ越しの準備をしよう

レベル1

シーン2 身近なものを買ってみよう

スーパーマーケットで買い物をするときを使う日本語を学びましょう。商品の売り場を聞いたり成分について聞いたり、支払いをするときの表現を学ぶことができます。



2-1. ○○はどこですか。



2-2. これ、おさがけはいつていますか。



2-3. ○○えんになります。

レベル2

シーン8

病院に行こう

病院やクリニックを利用するときを使う日本語を学びましょう。受付での必要な手続きや医師の診察、薬の処方を受けたりすることができるようになります。



8-1. かぜをひいたみたいです。



8-2. おふるにはいいってもいいです。



8-3. こちらがしよほうせんになります。



言語選択

レベル選択

自分に合ったレベルで学べるよう
レベル分けされています。

テーマ・目標

それぞれのシーンにおけるテーマ・
目標を提示します。

キーワード

このページで学ぶことができる
キーワードを提示します。

動画

テーマに応じた動画を掲載しています。

字幕

動画に合わせてセリフが表示されます。
日本語、ローマ字、外国語から字幕を選ぶ
ことができます。

役に立つことば

それぞれのシーンで取り上げ
られたことばに関連する、役
に立つことばを一覧で見
ることができます。

役に立つ情報

動画に取り上げられた場面に関連した、
知っておくとい情報を得ることができます。

「つなひろ」の学習の流れ <体験>

学び方ガイド動画で見る「つなひろ」での学び方



▶ 「レベル」「シーン」の選択

▶ 動画の視聴

■ 「このフレーズを覚えよう」や「ことばを覚えよう」による基本的な言語学習

■ 文型説明動画による言語形式の学習

● 「役に立つことば」「役に立つ情報」による関連する言語や文化・習慣の学習

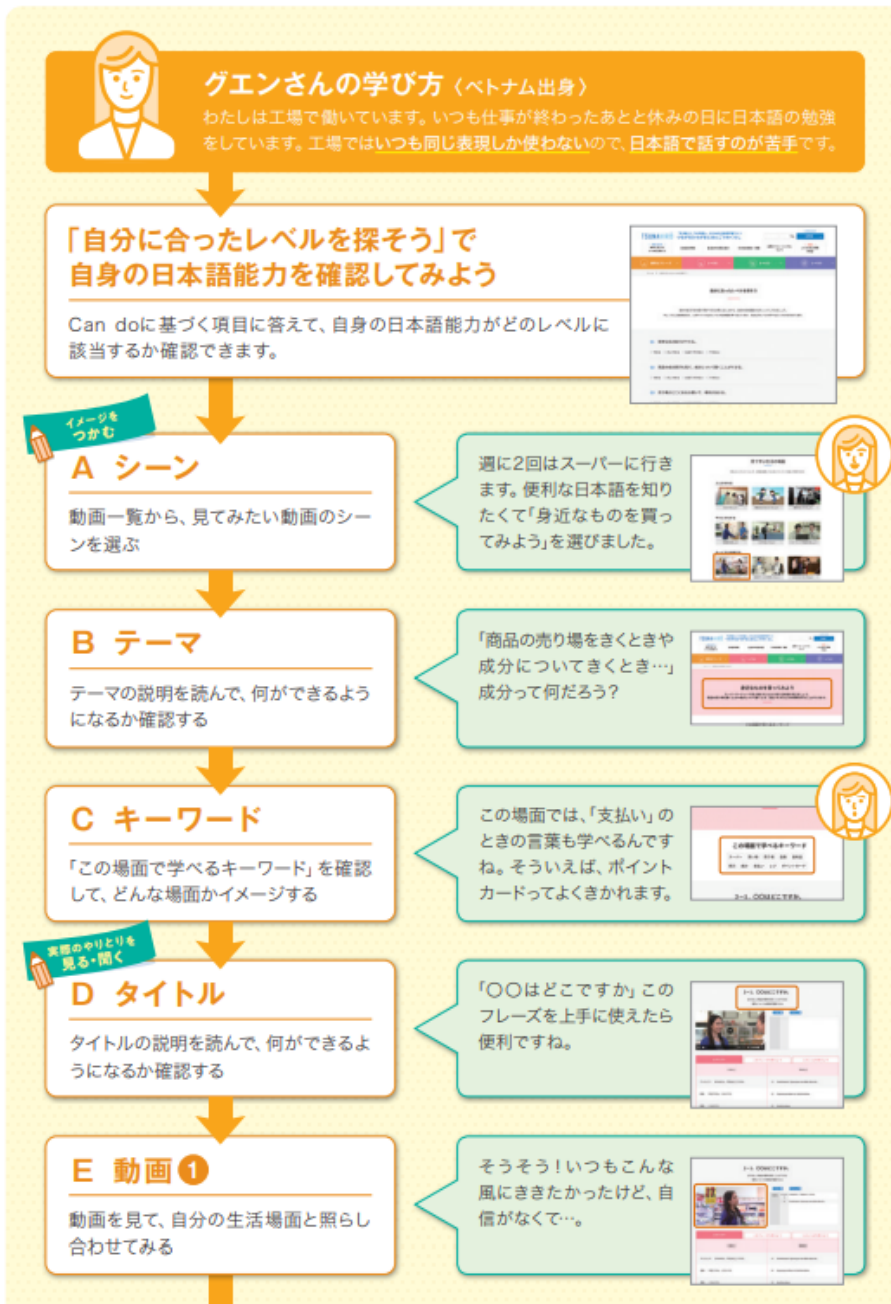
● 家族・隣人等を相手にした学習の確認による言葉の定着

動画視聴

表現・言葉の学習

家族・隣人等との
コミュニケーション

基本の学び方 (使い方ガイドブックp22~23)



考えましょう



- 学習体験はどうでしたか？
- 自学自習できるよう、どんな工夫がありましたか？

自学自習のための「つなひろ」の仕掛け<特徴>

- ウェブサイトでの提供

アクセスの容易さ、アラカルトに必要なシーンから学べる

- 多言語対応

18言語で学習できる(動画スクリプト)

- 動画中心

生活場面に特化したシーン、目標で体験・行動につながる
(+生活者の社会参加のため、社会・文化情報)



自学自習のための「つなひろ」の仕掛け<分析>

●学習の流れ

指導方略：導入（テーマ・目標・動画）⇒練習（段階）⇒まとめ、評価×（実生活で）
習得過程：インプット（動画）⇒気づき（フレーズ）⇒アウトプット（シャドーイング）

●動機付け・魅力

ARCS：注意（動画）⇒関連性（生活・疑似）⇒自信（練習）⇒満足感×（実生活で）
ゲーミフィケーション：×

●学習体験

UI：1シーン、1ページ、動画再生とスクロールのみ
UX：動画視聴、インタラクティブ性×、フィードバック×





IRODORI Japanese Online Course

English



Free online course for learning Japanese essential to daily life!



About the IRODORI Japanese Online Course

いそどろ日本語オンラインコース

<https://irodori-online.jp/irodori-online.jp>



いろいろ日本語オンラインコース

1. 「いろいろ日本語オンラインコース」とは
2. 自学自習の学習の流れ <体験>
3. 自学自習の支援の仕掛け <分析>

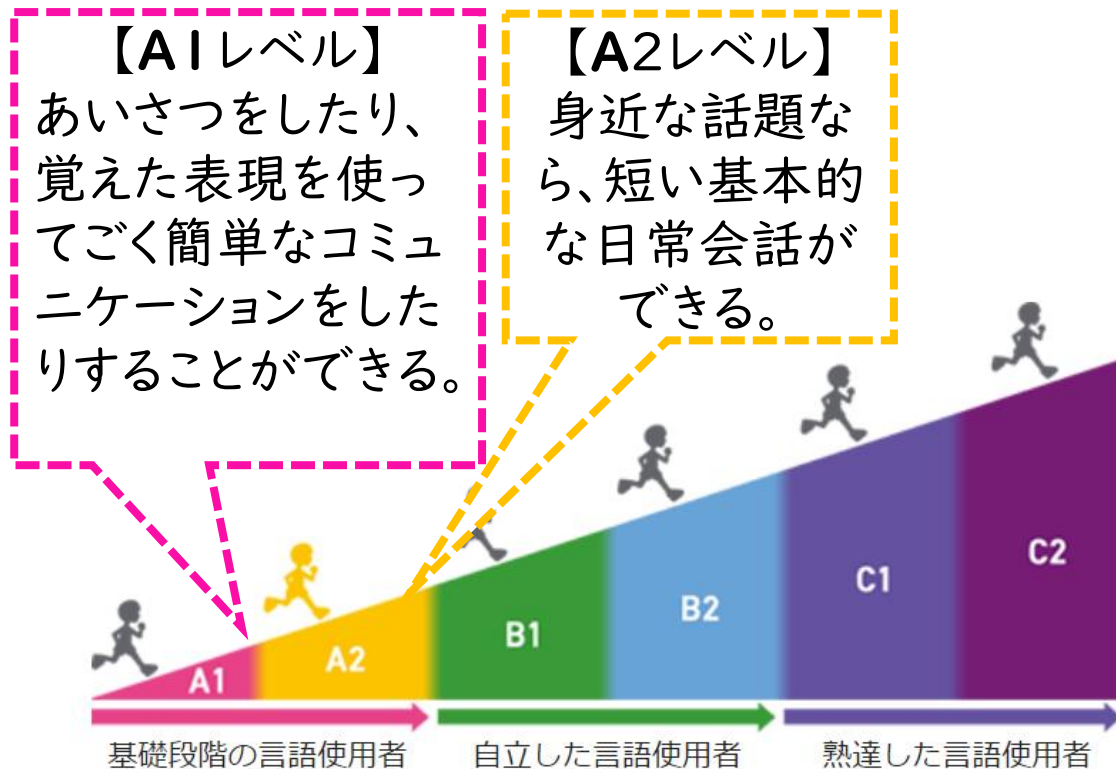
「いゝろどり日本語オンラインコース」とは

- 教材『いゝろどり 生活の日本語』をもとにした、
日本で生活や仕事をする際に必要となる基礎的な日本語のコミュニケーション力を身につけるためのオンラインコース
- だれでも無料でユーザー登録、コース受講が可能
スマートフォン、パソコン、タブレットで利用できる



レベルと解説言語

- 「入門 (A1)」「初級1 (A2)」「初級2 (A2)」の3コース
- 解説言語は12言語



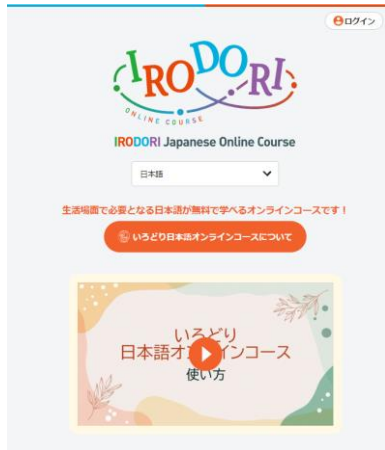
レベル	解説言語	オンラインコース	教材
A1 A2	英語 中国語 インドネシア語 クメール語 モンゴル語 ミャンマー語 ネパール語 タイ語 ベトナム語 ベンガル語 ラオス語	入門 (A1)	入門 (A1)
		初級1 (A2)	初級1 (A2)
		初級2 (A2)	初級2 (A2)

トピック

	入門	初級Ⅰ	初級Ⅱ
1-2課	はじめての日本語	今の私	私の周りの人たち
3-4課	私のこと	季節と天気	レストランで
5-6課	好きな食べ物	私の町	旅行に行こう
7-8課	家と職場	いっしょに出かける	地域のイベント
9-10課	毎日の生活	日本語学習	年中行事とマナー
11-12課	私の好きなこと	おいしい料理	上手な買い物
13-14課	街を歩く	仕事の連絡	さまざまなサービス
15-16課	店で	健康な生活	自然と環境
17-18課	休みの日に	交際	私の人生

コースサイトの構成

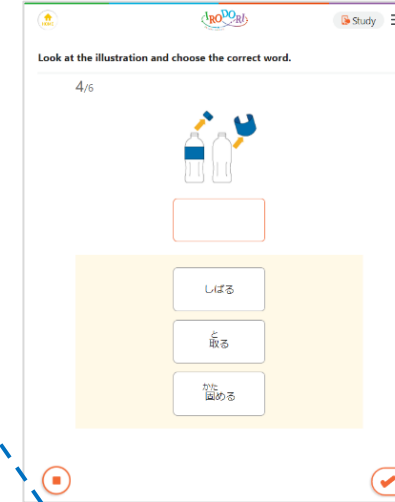
(1) トップページ



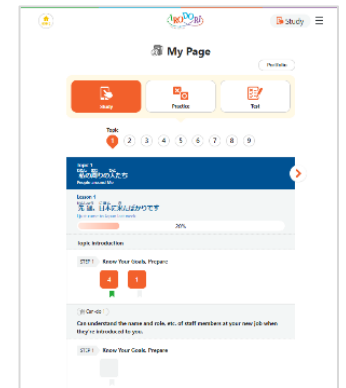
(2) 学習コンテンツ



(4) 練習コンテンツ



(5) マイページ



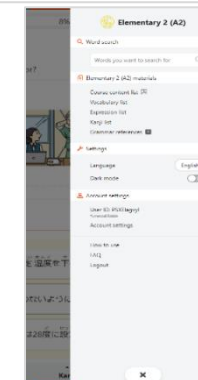
(3) サポートコンテンツ 「課ごとのサポート」



(3) サポートコンテンツ 「各学習内容のサポート」



(3) サポートコンテンツ 「全体のサポート」



(2) 学習コンテンツ

教材『いろいろ』のシラバスをもとに、目標Can-doに沿って日本の生活場面のコミュニケーションで必要な日本語を学ぶ

Step 1 目標を知る・準備

----- トピック、目標Can-do、場面を確認する

Step 2 ことばの準備

----- Can-do達成に必要なことばの音声を聞いて、言う練習をする

Step 3 聞く/読む・気づく

----- 会話を聞いたり、素材を読んだりして、内容を理解したり、表現や文型に注目する

Step 4 使ってみる

----- 動画を見て話す練習をしたり、実際に書く練習をする

Step 5 まとめ

----- クイズで、課の学習をふりかえる

Step 6 Can-doチェック

----- 目標Can-doができたかどうか、チェックする

(3) サポートコンテンツ

「わからない」と思ったときに、自分で調べてみたり、資料を参照したりすることができる

課ごとのサポート

ことば

案内する 
to show / to guide

急ぐ 
to hurry

イベント 
event

今から
from now on

受付 
reception

駅 
train station

文法

6時^じはどうですか？

Nはどうですか？

待ち合^あし
相手に
言い方
Nには、
入りま

漢字

時間 場所 駅 受付 門

電車 待つ 止まる 着く

急ぐ

時

time
o'clock

ANIMATION

各学習内容のサポート



Words



せつでん
節電する
to save electricity



せつすい
節水する
to save water



せつやく
節約する
to save



リサイクルする
to recycle



ごみ
waste



ぶんべつ
分別する
to sort



へらす
減らす
to reduce



Tips for life in Japan

Separation of trash

Most municipalities in Japan sort and collect trash separately. The sorting and separation of trash are conducted in different ways depending on the municipality, although trash is generally sorted as follows.

- 資源ごみ (recyclable waste)
- 可燃ごみ / 燃えるごみ (combustible waste / burnable waste)
- 不燃ごみ / 燃えないごみ (non-combustible waste / non-burnable waste)
- 粗大ごみ (oversized/bulky waste)



全体のサポート



Table of Contents

IRODORI Japanese Online Course Elementary 2 (A2)



Listen
 Speak
 Read
 Write

Theme **People around Me**

Lesson 1 *I just came to Japan last week.*

1. みんなを紹介しましょう

2. 一生懸命がんばります

3. とても太田君です

4. SNSの自己紹介

Unit 001

Can understand the name and role, etc. of staff members at their new job when they're introduced to you.

Can give a somewhat detailed self-introduction when you give first greetings at work and other places.

Can talk in simple forms about your hobbies.

Can write a simple self-introduction on social media.

Vocabulary 出 迎 会 参 観 元 節 意 味 通 達

Grammar

① N? という N?

② V-てばかりです

③ V-ていました

④ それ、何、こゝ

⑤ Discourse demonstratives>

⑥ へて、へ、へから、へば、へ

お世話「は」という敬称です。

元通、日本に逢たばかりです。

ベトナムでは、お寺で勤めていました。

ジャワ島に、ジョグジャカルタという大きな町があります。ウォノソボは、そこから、バスで4時間くらいです。

Types for this lesson

Lesson 2 *We finish a sentence perfectly.*

① POP ② Perfume ③ tobe-onoki (Syn)

文法資料

PDF

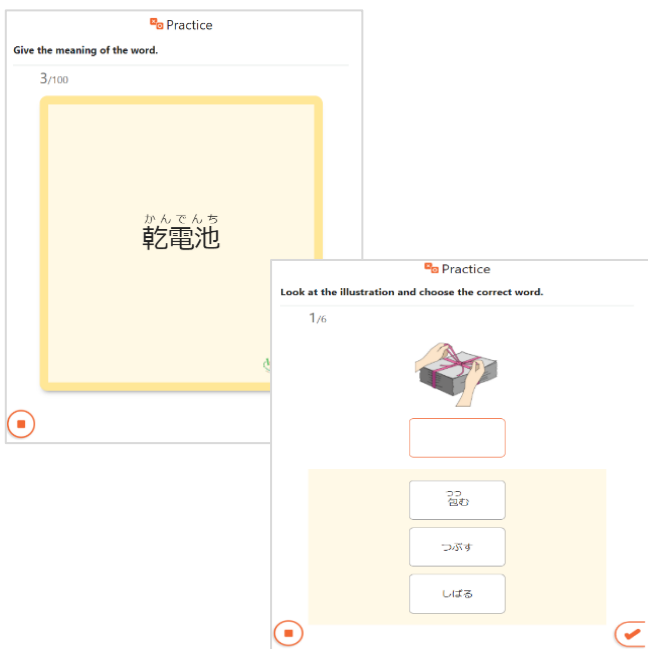
丁寧形と普通形

丁寧形		普通形	
非過去	過去	非過去	過去
肯定	否定	肯定	否定
お使います 出かけます します いそが 忙しいです 使いません 出かけません しません 忙しい 忙しくないです	使いました 出かけました しました いそが 忙しかったです 使いませんでした 出かけませんでした しませんでした いそが 忙しくなかったです	使う 出かける する いそが 忙しい 使います 出かけます します いそが 忙しい	使いました 出かけました しました いそが 忙しかったです 使いませんでした 出かけませんでした しませんでした いそが 忙しくなかったです

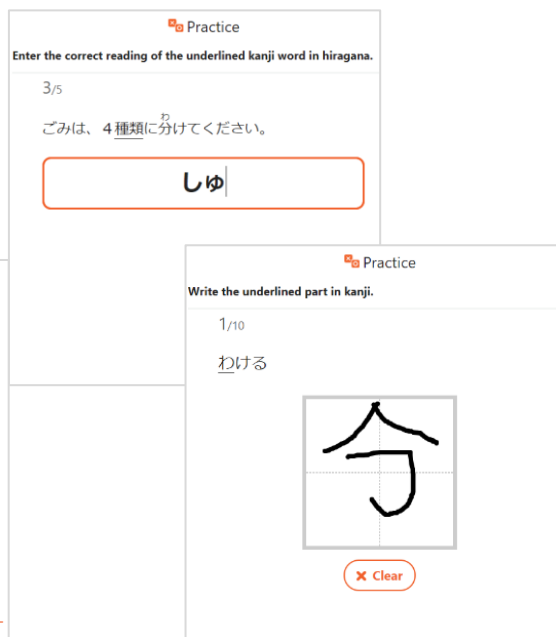
(4) 練習コンテンツ

「ことば」「漢字」「文法」「表現」の4つのカテゴリーで、「もっと練習したい」「自信がない」と思ったところを練習できる

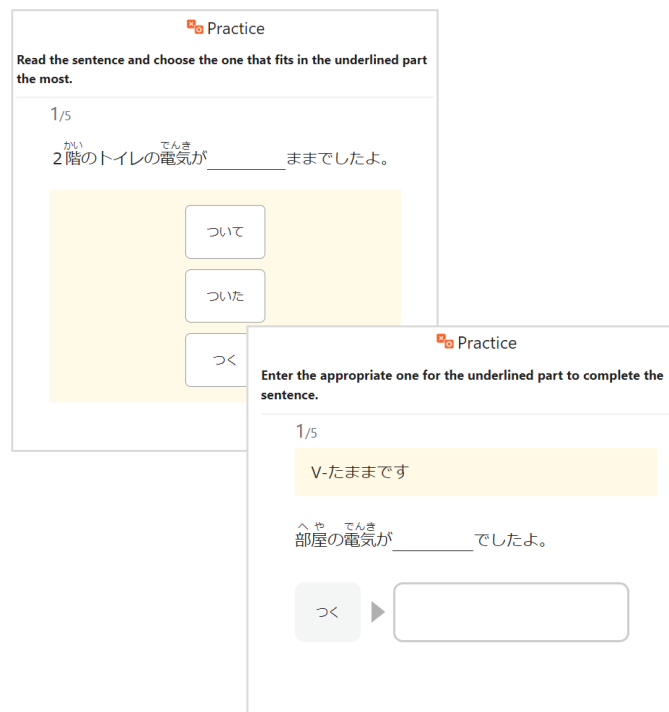
ことば



漢字



文法



表現



Android iPhone



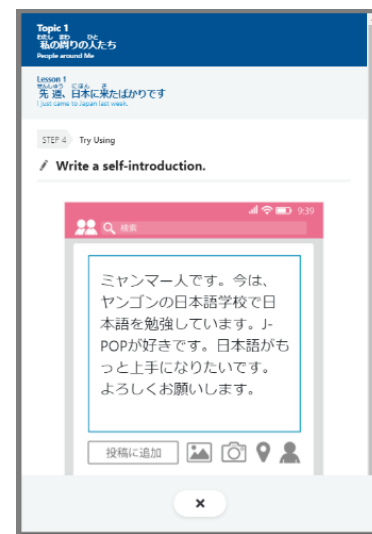
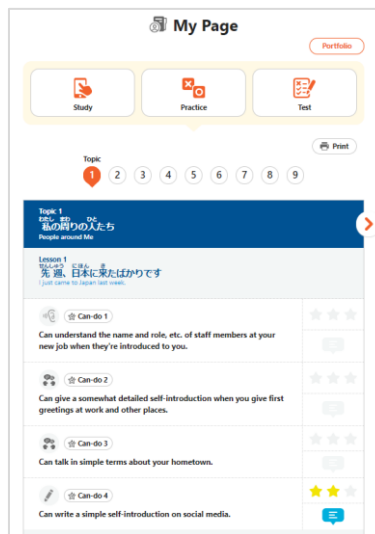
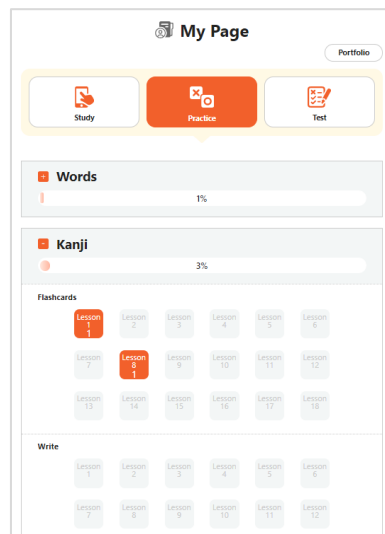
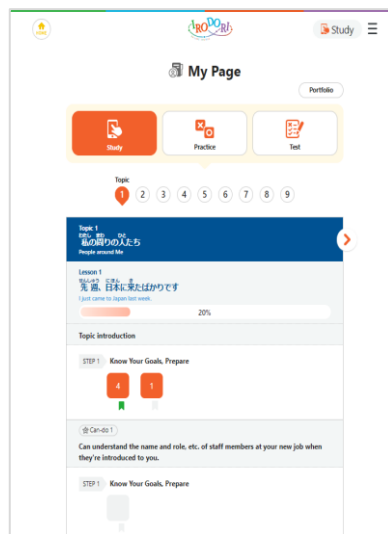
「いろいろ練習」アプリ

- 無料でダウンロード
- オフラインでも練習コンテンツが利用できる

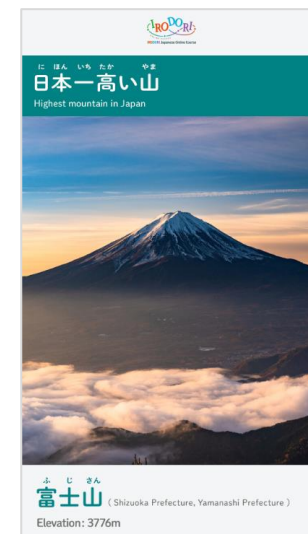
(5) マイページ

学習の進み具合を確認することができる。
ポートフォリオで、学習で記録したものを振り返り
たりできる。

進捗



プレゼント



考えましょう

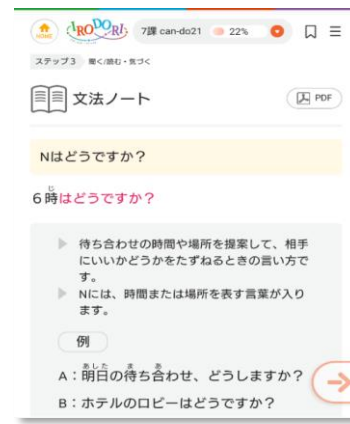


- 学習体験はどうでしたか？
- 自学自習できるよう、どんな工夫がありましたか？

いゝどりコースの自学自習の仕掛け<特徴>

- 生活場面に必要な日本語が学べる 「学習コンテンツ」
フルコース Can-do: 目標⇒活動⇒評価 (教師の役割、指示や解説)
動画を活用(導入、話す練習、ふりかえり)
インタラクティブな学習(聞く、話す、読む、書く)
多言語、サポート
- 学習者が必要なところだけカスタマイズして学べる 「練習コンテンツ」
言語能力の練習 バリエーション
自分で必要なものを選択して学びセルフチェック
- ストレスなく学べる
UI 学習単位のページ、定位置、メニューや進捗バー、マイページ
UX 動画やVRで没入感、インタラクティブな体験、アプリでさくさく

いどろりコース自学自習の仕掛け<分析> 「学習コンテンツ」



習得過程

インプット

動画、ことば、会話を聞く

気づき

文法・表現ルール

アウトプット

シャドーイング、会話

指導方略

導入

注意喚起、目標提示

練習

新事項提示、学習の指針、
練習の機会、フィードバック

まとめ

保持と転移 学習成果を評価

いどろりコース自学自習の仕掛け<分析>

「練習コンテンツ」

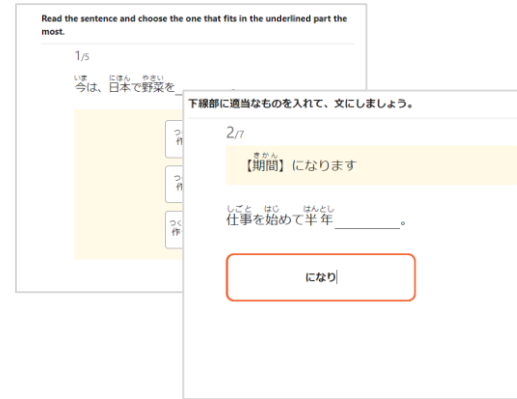
ことば



漢字



文法



表現



ARCS

注意

カード式
能動的

関連

方法・範囲を選択
バリエーション、セルフチェックリア
ク

自信

繰り返し練習

満足

カスタマイズ、達成感

ゲーム

選択性、競争、挑戦（リプレイ、レベルアップ）

学習者の声

- ・実際の生活に役立つ
ビデオが魅力的。日本で遭遇するシナリオ
- ・練習にバラエティがあって、学習の補強になる
- ・わかりやすくユーザーフレンドリー
隙間時間に学習できる

考えましょう



- 「つなひろ」サイトと「いろどり」オンラインコースの共通点、相違点は何でしょうか？

「つなひろ」サイト 共通点 「いろいろ」コース

- 行動中心

Can-do目標⇒練習⇒評価・FB

- 動画

生活場面と行動をイメージし、疑似体験

- スモールステップ

トピック・シーン⇒Can-do、動画⇒段階的練習（ことば、フレーズ、会話）

- 多言語対応

自分の言語で理解し、考えながら学習できる。

学習者を社会的存在と捉える

言語を使って「できること」に注目する

多様な日本語使用を尊重する

「つなひろ」サイト 相違点 「いろどり」コース

アラカルト

- 選択式
- 部分的 ことば、表現⇒会話
- 動画視聴
- 評価 ない(実生活で)

自分に必要なものから
実用的な会話中心に
気軽に学びたい人

フルコース

- 連続性
- 総合的 言語活動「学習」 言語能力「練習」
- インタラクティブな活動(聞く、話す、読む、書く)
- 評価 クイズ Can-doチェック
テスト ポートフォリオ

総合的に
コミュニケーション活動も能力も
しっかり学びたい人

オンラインコース、サイト、アプリの特徴

	オンラインコース	サイト	アプリ
学習内容	目標、導入、練習、評価の一連の学習	場面動画、文法、語彙、漢字など	文字、語彙などに特化した内容
構成	コース、マイページ 総合的、連続性	内容別コンテンツ 選択式	辞書、クイズ・ゲーム 簡易
利用場面	自学自習用 授業利用も可 反転、授業内、復習 教材と併用	自習・授業利用 授業内、復習 選択・URL指定	自学自習用 授業利用も可 復習 個別・内容特化

4. これからの教師・学習支援者の役割

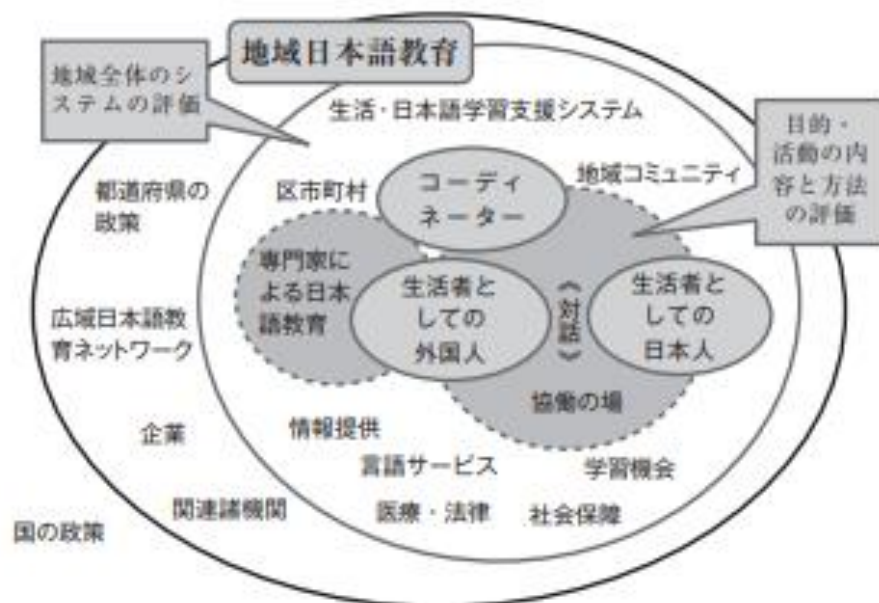
地域日本語教育を担う人材の方向性

これまで

ボランティア中心

地域コミュニティ:<対話>協働の場

区市町村:専門家による日本語教育



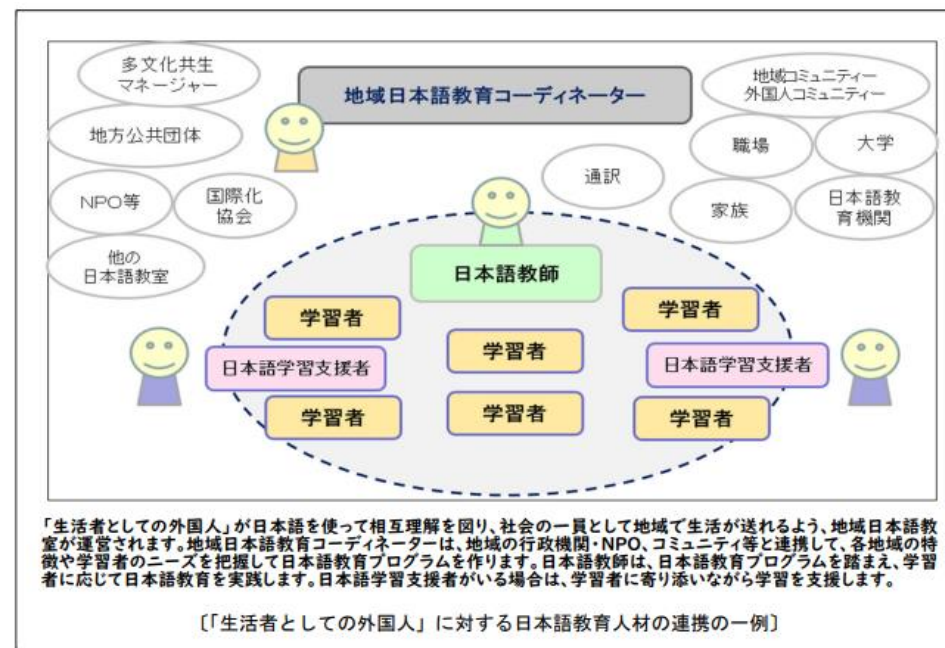
「地域日本語教育システム」日本語教育学会(2008)報告書

これから

国・地方公共団体の責務

地域日本語教育人材の役割と資質・能力の明示

日本語教育の質の向上、保証、継続(A1-B1)



「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改定版」

地域日本語教育を担う人材の役割

日本語教育コーディネーター

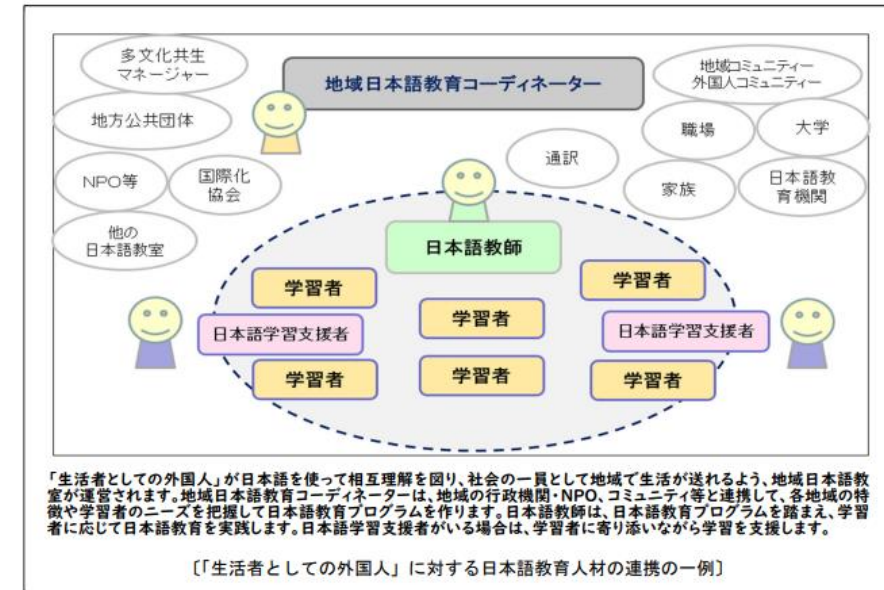
各地域の特徴や学習者のニーズを把握して日本語教育プログラムを作る

日本語教師

日本語教育プログラムを踏まえ、学習者に応じて日本語教育を実践する

学習支援者

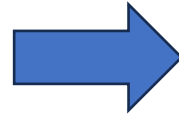
学習者に寄り添いながら、学習を支援する



教授デザインから学習デザインへ



教師視点の
Teaching デザイン
教授内容、教え方



学習者視点の
Learning デザイン
学習体験、プロセス

地域の特徴や学習者それぞれのニーズに応じて
自学自習と教室での学習の流れをデザインする

「つなひろ」を使った学習デザイン事例

大阪国際交流センター「オンライン日本語教室」

- 対象 生活者としての外国人、ゼロレベル
- 人数 学習者10名、講師1名、ボランティア5名
- 形式 オンライン教室
- スケジュール |クール レベル1 90分×20回 レベル2 90分×20回
週2回(火、木 10:00-11:30)
- 教材 「つなひろ」レベル1(シーン1-11)と便利な表現

課題:①はじめて日本語を学ぶ人

②オンライン教室

できるのか?

●学習の流れ

1. 自学自習：学習者はシーンのテーマ、目標、会話動画を見ておく
2. 授業
 - ①全体：講師が予習したことを確認し、ことば、フレーズを練習した後、
会話練習の流れを示す
 - ②個別：ボランティアと学習者で会話練習する、学習者に合わせてアレンジする
 - ③全体：何組か会話を発表し、各自Can-do達成を自己評価し、指3本で示す
3. 自学自習：学習者は必要に応じて文法動画や生活情報の動画を確認する
Can-doチェックシートにコメントしたり、Padletに記入したりする

「つなひろ」の使い方：教師、支援者の役割



ひとりの学習から実践への橋渡し

学習者の声 (レベルⅠ終了時アンケートより)

- ・予習をしてから授業に参加できたか (全員、できた)

- ・授業の感想

 - 「たくさん練習して、日本語の話がよくなった」

 - 「先生とボランティアの教えがよく真剣に取り組んで内容も実用的」

 - 「さまざまな場面の日本語の付き合いの基本となるコミュニケーションを習得し、実生活で役立った」

- ・「つなひろ」で学習したことを教室外で使ったか (全員、よくあった)

 - 「現実の同じ場面でよく使う」

 - 「レストラン、あいさつ」「日常の買い物、道を尋ねる」

 - 「オフィスやスーパー、地下鉄」「今から美容院に行く」

その他(コラム)

つながるひろがる ヒント集 1

日本語教師として 「生活者としての外国人」に教えるときに

「生活者としての外国人」は、たとえ来日したばかりでも、「今ここ」で直面する生活の場面に日本語で対応しなければなりません。日本語教師に求められるのは、目の前の学習者の日本語力を把握し、何をどこまで習得できれば現場対応力がつくかを考え、授業計画を立てることです。ここでは、レベル2のシーン5「病院に行こう」を取り上げて、学習者の日本語力に応じた本サイトの使い方を考えてみます。Aは「まだ日本語でのコミュニケーションが難しい学習者の場合」、Bは「日本語である程度コミュニケーションがとれる学習者の場合」です。

A. まだ日本語でのコミュニケーションが難しい学習者の場合

1 動画を見る前に

- 右のような場面を見せて、これから学習する内容についての



つながるひろがる ヒント集 2

日本語学習支援者として 日本語教室で活動するときに

本サイトは、1人でも日本語が学べるように開発されましたが、地域の日本語教室などで、日本語学習支援者が行う活動のための教材としても、様々な活用方法があります。「動画」、「スクリプト」、「文型」、「役に立つことば」など様々なコンテンツを活用して、日本語学習をサポートしましょう。ここでは、「動画」の会話を利用して、会話づくりをしながら日常生活でのやりとりや、学習者が言いたいことを見つける活動のための活用例を紹介します。

レベル2のシーン8の「図書館」の動画を使った活動を紹介합니다。(一部のみ掲載)

シーン8 図書館に行ってみよう

8-2. はんはなんざつかりられますか。



図書館員：こちらが貸出カードになります。
…中略…

アンジェラ：あの、本は何冊借りられますか。

図書館員：一人6冊までです。

アンジェラ：そうですか。

あの、英語の本はどこにありますか。

図書館員：B-15ですよ。

アンジェラ：ありがとうございます。

つながるひろがる ヒント集 3

地域住民向けに 外国人への接し方の研修をするときに

本サイトは、外国人が日本語を学習するために作られましたが、様々な場面での日本人等とのやりとりは、日本人が「外国人との分かりやすいやりとりの仕方」「分かりやすい日本語」を学ぶ際の資料にもなります。どのテーマでもかまいませんが、たとえば、「旅客業務」で外国人とのやりとりの多い方々向けなら、テーマ5を使ってみると、身近に感じてもらえるでしょう。

テーマ5では、「駅」でのやりとりを見ることができます。以下のようなものです。(一部のみ掲載)

シーン5 電車に乗ってみよう

5-1. なんばんせんですか。



オウ：すみません。静岡に行きたいです。電車は何番線ですか。

駅員：2番線です。

オウ：2番線ですね。電車は何時ですか。

駅員：9時45分です。

オウ：9時…。

駅員：9時45分です。

オウ：9時45分ですね。静岡までどのくらいかかりますか。

駅員：30分ぐらいです。

オウ：分かりました。ありがとうございます。

「いろいろりコース」を使った学習デザイン案

企業内での学習支援

- 対象 就労者、初級Ⅰ（A2）レベル
- 参加 学習者2名、先輩日本人1名
- 形式 対面（職場の休憩スペース）
- スケジュール 5月－9月 週1回（月 11:00-12:00）
- 教材 「いろいろり日本語オンラインコース」初級ⅠA2 1課～18課

課題：①地域に日本語教室がない

②入門（A1）レベルの学習経験はあるけれど、話せない

学習の流れ

●学習の流れ

- ①「学習コンテンツ」を週に1課自学自習する。
Can-doに沿って学習し、会話のシャドーイングや録音練習をしておく。
- ②翌週、職場の先輩に、学習した課の会話の流れをスマホで見せて、
相手役になってもらい、会話してみる。
- ③「練習コンテンツ」のアプリで、その課の自分が苦手な部分（例：ことは、
聴解など）を自学自習する。

●評価

②のあとでCan-doチェック画面で★で自己評価し、気づいたことをメモしておく（自分の言語で）。実生活の場面で使ってみてできたら、追記する。

「いろどりコース」の使い方:学習支援者の役割



eラーニング
日本語教育の専門家
教師の役割



学習支援者
FB、対話
寄り添い、学び合う

eラーニングを活用した学習支援のためのポイント

- 課題やニーズに合うeラーニングを**探す**
- 学習者として**体験する**
- 自学自習を支援する仕掛けを**分析する**
- 自学自習と教室での学習の流れを**デザインする**

生活、就労のための日本語教育において、それぞれの現場の課題や学習者のニーズに合わせて、**日本語教育コーディネーター、日本語教師、学習支援者**が、役割に応じて学習支援をする可能性の一つとして

目標の確認

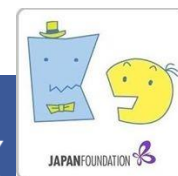
- JFの海外の日本語教育支援と教材開発、外国人材向け日本語事業の取り組みについて知る
- eラーニングを活用した学習支援のためのポイントを知る
- 生活・就労のためのeラーニングとその特徴や自学自習のための仕掛けを知る
- eラーニングを学習支援にどう活用できるか、これからの教師・学習支援者の役割について考える



最新情報は…
公式サイト・公式SNSで！

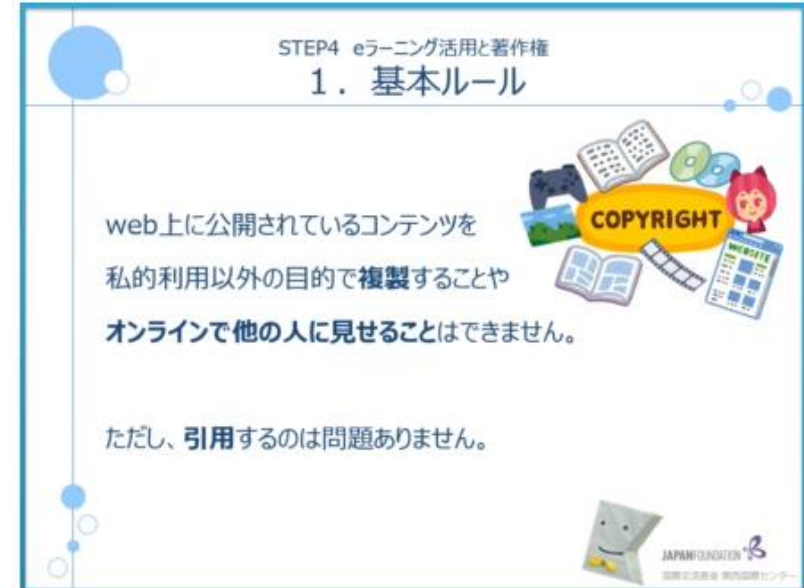
KC : <https://www.jpf.go.jp/j/kansai/index.html>

facebook



@JFKansai

【教師向け】eラーニング活用ガイド



- ・ KCのeラーニングを例に、eラーニングをどう授業と組み合わせ
て活用するかが学べる
- ・ eラーニングを授業に活用するにあたり著作権などに対する
配慮について学べる

参考書籍

- 加藤聡子、ジョー・マイナード（著）、義永美央子、加藤聡子（監訳）（2022）『リフレクティブ・ダイアログ 学習者オートノミーを育む言語学習アドバイジング』、大阪大学出版会
- R.M.ガニエ・W.W.ウェイジャー・K.C.ゴラス・J.M.ケラー（著）、鈴木克明・岩崎信（監訳）（2007）『インストラクショナルデザインの原理』北大路書房
- 来嶋洋美、八田直美、二瓶知子（2024）『Can-doで教える 課題遂行型の日本語教育』三修社
- J.M.ケラー（著）、鈴木克明（監訳）（2010）『学習意欲をデザインする：ARCSモデルによるインストラクショナルデザイン』北大路書房
- 国際交流基金編、島田徳子、柴原智代著（2008）『国際交流基金日本語教授法シリーズ第14巻「教材開発」』ひつじ書房
- 国際交流基金関西国際センター編、熊野七絵、品川直美、田中哲哉、中島透、西野藍、羽太園、矢澤理子著（2008、2020電子書籍無料公開）『[日本語ドキドキ体験交流活動集](#)』、国際交流基金関西国際センター
- サラ・マーサー、ゾルタン・ドルニエイ（著）、鈴木章能、和田玲（訳）（2022）『外国語学習者エンゲージメントー主体的学びを引き出す英語授業』、アルク
- 鈴木克明（2002）『教材設計マニュアル：独学を支援するために』、北大路書房
- 當作靖彦（監修）李在鎬（編者）（2019）『ICT×日本語教育-情報通信技術を利用した日本語教育の理論と実践』、ひつじ書房
- 山田智久、伊藤秀明編（2021）『オンライン授業を考える 日本語教師のためのICTリテラシー』、くろしお出版
- 横溝紳一郎、山田智久（2019）『日本語教師のためのアクティブ・ラーニング』、くろしお出版
- ライゲルース, C. M.、ビーティ, B. J.、マイヤーズ, R. D.（2020）『学習者中心の教育を実現するインストラクショナルデザイン理論とモデル』（鈴木克明監訳）、北大路書房

参考論文等

- 安達祥子・笠井陽介・熊野七絵（2023）「いそどろ日本語オンラインコース」開発と運用、『国際交流基金日本語教育紀要』第19号、pp.15-130
- 熊野七絵・戸田叔子・安達祥子（2021）「『国際交流基金日本語基礎テスト』の開発－生活場面でのコミュニケーションに必要な言語能力（A2レベル）を判定するCBT－」『国際交流基金日本語教育紀要』第17号、pp.48-63
- 熊野七絵（2021）「『みなと』の日本語コースのコースデザインと教材の工夫」、山田智久・伊藤秀明編『オンライン授業を考える 日本語教師のためのICTリテラシー』、pp.93-113、くろしお出版
- 熊野七絵（2020）「学習ニーズや環境とデジタルリソースの提供形式を考慮したキュレーション」発表3、山田智久・北村祐人・伊藤秀明・熊野七絵「デジタルリソースのキュレーションを考える～事例と視点の共有を目指して～」パネル発表、『2020年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp.56-65
- 熊野七絵、伊藤秀明、北村裕人、山田智久（2019）「公的機関（JF、大学、文化庁）のeラーニング教材を日本語教育現場で活用するためには何が必要か」、パネル発表、発表1「JFのeラーニングと日本語教育現場での活用事例」、CASTEL/J2019予稿集
- 武田素子・熊野七絵・千葉朋美・檜山治樹（2019）「まるごと日本語オンラインコースの開発と運用－自学自習を継続させるための工夫とは－」『ICT×日本語教育情報通信技術を利用した日本語教育の理論と実践』pp.236-252、ひつじ書房
- 千葉朋美・熊野七絵（2018）「『JFにほんごeラーニング みなと』における日本語オンラインコースの開発と運用－eラーニングでの自学自習を継続するために－」、2017年ヨーロッパ日本語教育シンポジウム“Learning and teaching Japanese in Europe. Why? - Voices from the field -”、『ヨーロッパ日本語教育22 2017ヨーロッパ日本語教育シンポジウム報告・発表論文集』pp.372-377
- 千葉朋美・武田素子・廣利正代・笠井陽介(2018)「まるごと（A1）教師サポート付きコース」の運用と成果－オンラインコースにおける学習者支援－『国際交流基金日本語教育紀要』第14号、pp.51-66